



J.H 日本語日本文学科 2 年次生

参加期間： 2019 年 3 月 14 日～3 月 23 日（10 日間）

I. プログラムについて

- ・初めての海外でしたが、海外に行くためには何の書類が必要なのかも国際課の方たちがしっかりと説明してくれたので安心できました。
- ・台湾に行く前に事前指導があり、台湾について調べ、学びます。また、作成した教案を山本先生や政治大学の担当の先生に見ていただき修正をします。最後に、15 分程の模擬授業を行い、アドバイスを頂きながらしっかりと準備をします。
- ・大学ではまず、先生方とチューターの方たちを交えてオリエンテーションがありました。その後、20 分程度の模擬授業を行い担当の先生と修正点や改善点を話し合いました。これを元に日本で作った教案を手直しします。
- ・教壇実習は50分×2の1コマを担当させていただきました。間に10分の休憩があるので教案を作るときは気に留めておいた方が良いでしょう。
- ・平日は基本的に先生方の授業を見学させてもらい、休日は観光という日程になっています。

II. 参加希望者へのアドバイス

- ・パスポートは持っていなかったら早めに申請しておいた方が安心です。
- ・台北市は山間部に位置しているのでよく雨が降ります。折り畳み傘はつねに携帯していました。
- ・パソコンは必須です。向こうで先生方と話し合って実習の内容は変化すると思っておいた方が良いでしょう。
- ・私たちが泊まった場所付近に24時間営業のスーパーがあったので買い物に不便はなかったです。コンビニもありましたが少々高く感じました。
- ・観光先はメンバーと話し合って決めました。それをチューターさんに伝えると案内してくれます。
- ・ご飯がおいしいです。個人差があるとは思いますが折角なので日本にはない料理に挑戦してみてください。
- ・チューターの方々がとても優しく疑問に思ったことや、不安なことは何でも聞けました。





M.N 日本語日本文学科 2 年次生

参加期間： 2019 年 3 月 14 日～3 月 23 日（10 日間）

I. プログラムについて

この国立政治大学日本語指導実習プログラムは実際に台湾の政治大学に行き自身が授業をするというものです。行くことが決定した時から実習に向けての準備は始まります。始めは台湾で授業をするという実感がなかったのですが、準備を進めていくうちにだんだんと実感がわいてきました。日本にいる間は、指導して下さる政治大学の先生と連絡を取り合いながら教案を作成したり、自分が担当するクラスの詳細を聞き、授業の構成を練ったり、気になったところは山本先生に相談したりしました。実際に台湾へ行ってからは自分が授業をする他に、観光や授業見学などが出来ます。観光では台湾の文化や街の雰囲気を感じることができとても充実した時間を過ごせましたし、授業見学は実際の日本語教育の現場を見て、先生たちの授業の進め方や学生とどう接しているのかなど、学ぶことが多かったです。

そして、もちろん先生方の支えも大きいのですが、このプログラムではチューターさんの支えなしではここまで充実した生活は送れないなと思いました。観光をはじめ、授業など全ての場面においてチューターさんが共にいてくれたので、不安なことなく 10 日間を過ごせました。最初は緊張するのですが、日本の話や台湾の話、趣味などをしていくうちにだんだん仲良くなれました。帰国するときは本当に寂しかったですが、SNS でつながっているので時々連絡を取り合います。





Ⅱ. 参加希望者へのアドバイス

生活面から言うと、気候は基本的には暖かいのですが、時々寒くなる時があるので、何か上着など羽織れるものを持って行った方が良いと思います。また突然雨が降るときもあるので傘も常に持っておいた方が良いでしょう。コンビニやドラッグストアが沢山あるので日本から何か沢山もっていかななくても現地で問題なく調達できると思います。今回私たちは始めの数日をホテルで過ごし、残りを寮で過ごしたのですが、ホテルはアメニティなどがあり、特に不自由なく過ごせました。寮は、アメニティなどはないですがコインランドリーがあったので洗濯することができます。トイレトペーパーがないトイレが時々あるのでポケットティッシュを持っていた方が良いでしょうと思いました。

実習面で言うと、日本で教案を作っても現地で指導を受けるとまるっきり内容が変わってしまうこともあるので、柔軟に対応する力が必要だと思います。ですが先生と相談を重ね、一つ一つしっかりと対応していけば自然と教案は作れると思います。また PC と USB は持って行った方が良いでしょう。自分が授業を行う教室も事前にしっかり見ておいて、何が使えて何が使えないのか把握しておいた方が良いでしょう。

そして最も大切なのが、共に行く実習生と協力し、励ましあい、切磋琢磨できる関係を築くことだと思います。ともに過ごす実習生の存在が何よりの支えになりますし、私はこの3人で台湾実習が行えたことが本当に嬉しく、感謝しています。またこのプログラムを何事もなく終えることができたのは国際課の方々やチューターの方たちの存在があってこそだと思います。本当にありがとうございました。

国外でいきなり授業をするのは不安に思うかもしれませんが授業が成功しても、上手いかわないことがあったとしても無駄なことなど一つもないですし、全てが大きな経験となり、自身の成長の糧になると思います。もし少しでもこのプログラムに興味があったら是非思い切って参加してみてください。きっと充実した生活、価値ある時間を過ごせると思います。





Y.A 日本語日本文学科 2 年次生

参加期間： 2019 年 3 月 14 日～3 月 23 日（10 日間）

I. プログラムについて

自分でも驚くくらい豊富な経験ができ、多くのことを学びました。

出発前は「自分が担当する授業」のことばかり考え不安になっていましたが、実習に参加してみると台湾の街を歩くだけでもワクワクしましたし、学生チューターのみなさんとの交流が楽しかったり、普段日本ではできないような経験ができたりなどと予想以上に楽しい毎日を過ごすことができました。

まず授業についてですが、実際に授業をする数日前に学生チューターの方々と先生に模擬授業を見ていただき、アドバイスをいただけるのでとても勉強になりますし、授業日までに自分がどこを改善すべきかが分かります。

実際の授業は、初めの数十分は緊張しました。しかし学生の皆さんが授業を真剣に聞いてくれたり、言い間違えてしまっても温かい目で見えてくれたりなど教室の雰囲気よかったので、後半は楽しんで授業ができました。授業後の担当の先生のフィードバックもとても参考になりました。

次に観光についてですが、学生チューターのみなさんがサポートしてくれたためスムーズに買い物や食事をすることができました。私たちは観光 1 日目に淡水、西門街、士林夜市に行き 2 日目は九份に行きました。空いている時間には政治大学の近くの台北動物園に一度行きました。

最後に宿泊についてですが、今回利用させていただいた I-house は快適でした。政治大学から近い場所にあり、スーパーもすぐ近くにありました。施設内にはランドリーがあり便利でした。フロントの方も優しく、自分の片言な英語でも言いたいことを理解してくださいました。

チューターのみなさんは日本語がとても上手で会話をするのが楽しかったです。また、とても親切にしてくれました。担当の先生も自分の話をよく聞いてくださり、ありがたい助言を沢山いただきました。日本語の勉強を頑張っている学生や、いつも学生と楽しそうにされている担当の先生などに感化され、私もこの分野の勉強に励み、将来先生のように実際に日本語を教えてみたいと強く思いました。台湾という場所もこれまで以上に大好きになり、今後何らかの形で関わり続けたいとまで思いました。

今この実習を振り返ってみてこの経験は、今後学生生活を送るうえでのモチベーションになると確信できるものになったと改めて感じます。参加して本当に良かったです。素敵な思い出をどうもありがとうございました。

II. 参加希望者へのアドバイス

持って行ってよかったと思うものはコート、折り畳み傘、日本で服用している薬です。

気温の変化が激しいため着脱しやすい格好で行きました。長距離バスの中はクーラーがよくきいており寒かったです。冷え性の方は貼らないカイロがあると安心だと思います。

天気予報を信用せずに毎日折り畳み傘をかばんに入れていたのですが、突然雨が降ることが多々ありよかったなとそのたびに思っていました。雨の量も多かったため大きめのものを持って



行った方がいいです。

体調を崩してしまったときに普段飲んでいる薬があり安心できました。

また、乗り物は日本に比べ揺れが激しいので普段乗り物酔いをしない方でも、酔い止めは念のため持っていった方がいいと思います。

バスに乗る際や割り勘会計をする際に細かいお金がなく、困るということが何度かあったので硬貨は常に財布の中に入れておくべきだと学びました。

やってよかったと思うことは、学生への授業アンケートです。授業後に配り学生に書いてもらいました。自由に感想を書いてもらう形式ではなく、3つ4つ具体的な質問を設け書いてもらいました。改善点を知ることができるだけでなく今後の励みになるような言葉も貰え、とても嬉しかったです。

【台北動物園にて】





【思慕昔 (smoothie house) のマンゴーかき氷】

4人でシェアしました



【九份にて】

